

第16回二島杯～一度

年に2回開催してきた二島杯、前回大会は、施設の台風被害により中止になりましたが、バド好きの皆さんのご支援により、当初の募集96名に対し、紆余曲折ありましたが、最終120名参加で開催することができました。ご参加の皆さん、当日お手伝いいただいたスタッフの皆さん、誠にありがとうございました。

大会テーマは、「一度」・・・ラグビーワールドカップの「四年に一度じゃない、一生に一度だ！」っていうキャッチコピーから拝借、今年度として一度だけ、平成の年号で開催できる一度で、皆さん一度ご参加を、そんな思いを乗せて募集してきました。



当日は、約20年前に初めて主催した大会にも出席してくれた方、今回初めての方、いつものメンバーから、社会人メンバー、身内のように可愛がってきた娘、歴史を感じるというか、開会式で120名の参加の皆さんを見て感激しました。嬉しくて、つい、皆さんを前に喋り過ぎました・・・って、「いつものことやがな！」なんて突っ込まない。まあ、競技上の注意とか勝敗基準とか一般上の注意とか飛ばしたんで、帳尻は合ってると思います。

大会は大盛況。今回は、市の魅力発信課(広報誌を担当)から市民特派員の方が取材に来て、「選手の皆さんの笑顔が印象的な試合が繰り広げられていました」なんてレポートをSNSに掲載してくれました。大会Tシャツや、乾燥している時期なのでシャトルを霧吹きで湿らせる姿に興味を持ったようです。まあ、これをきっかけにバドミントンの楽しさをわかってもらえて、練習にも、もっとたくさんの方が集まってくれたら良いのですが。



今回の優勝は、勝ち負けに関係なく楽しく羽根を打とうと言っていた主催者のチーム。キャプテンは、過去に青年協会として「広報かどま」で募集した講習会の生徒さん。まあ講習会と言ってもマニュアルもなく楽しくゆるく打ち合っただけでしたが、中学の部活に入って上手くなって、それからバドミントンが続けて、成人して就職、忙しい毎日を過ごし

ながらも、二島杯だけは継続して参加してくれた娘同然の少女・・・というか、素敵な女性として社会貢献しているはずですが、「キャプテンとして初優勝、しかもお代官様と一緒にチームで嬉しすぎます！」なんて言われて、ウルウル。可愛い娘よ、これからも一緒に遊んでね、お嫁に行くなんて言ったら全力で反対しますけど。



また、優勝決定戦の対戦相手は、主催者の奥様が所属するチーム。茶番じゃないですよ、当日ドタキャンが出て(というより行方不明)対策のために、待機していた奥様が、たまたま入ったチームが絶好調だっただけ。まあ、平成最後の大会でしたし、テーマ通り「一度」の出来事でしょう。



運営も、主催者が頼りないから、おっち一軍団が早朝から設営をお手伝い、オーダーもチャット組が書いて、ノブリン&エトラ次女のゆるキャラグループが、シャトル係で活躍。まあ、手作りの大会ですから、こんなものでしょう。ホント助かりました。



第16回大会は、一年ぶりの開催でしたが、大成功。次年度、新しい年号になっても、秋と春の2回開催したいと思っていますので、お付き合いよろしくお願いいたします。

[トップ](#)
[戻る](#)

[第17回～ワールドワイ
ド](#)